

令和4年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	1 学年意識啓発講演会
期 日	令和4年7月6日（水）6 限
会 場	長岡高校AV教室よりリモート配信
対 象	1 年生全員
目 的	学問と仕事との関わりについて知り、将来の自分像を探究することで、学校生活への取組みを豊かなものにする事を目的とする。
内 容	長岡技術科学大学工学部准教授(生物機能工学専攻)の山本麻希先生を講師にお招きし、1年生を対象に「夢を叶える生き方のヒント」という演題で進路意識啓発講演会を行いました。「どうして海鳥は長く深く潜れるのか?」と純粋な科学的疑問を抱き、生理生態学に研究の魅力を感じ始めていた博士課程1年生の頃、第39次南極観測隊に同行するチャンスがあり、アデリーペンギンの心電図の計測調査を行う傍ら、厳しい南極の自然と向き合う中で「人間として大切なことは何か?」「自分は何のために研究をしているのか?」について深く考えた事。また、平成18年にツキノワグマが大量出没した際、新潟県では多くのツキノワグマが捕殺されたことに疑問を抱き、生態学者として野生動物と人間の共存を目標に掲げるようになった事。そして、野生動物と人間の共存を可能にする科学技術について研究しようと決意し、高校教員を辞めて再び研究者となった事など、人生の足跡についてエネルギー溢れる御講演をいただきました。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>マイクロデータロガーによる行動研究</p> <p>マイクロデータロガーによる行動研究</p> <p>小型の行動記録計 →内蔵PCに様々なデータ記録</p> <p>動物に装着しデータ</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>野生動物管理工学研究室</p> <p>人と野生動物の共存を目指す</p> <p>野生動物の保護管理に必要な工学技術の開発や生体情報調査を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆先端工学技術を生かした鳥獣対策についての要素技術の開発 ◆カワウの個体管理と被害対策に関する研究 ◆農産に生息するオオミズナギドリ保全生物学的研究 </div> </div>
アンケート評価	ご自身の体験を熱く語る山本先生の講演に多くの生徒が刺激を受け、進路探究するにあたって「生きるとは何か」「夢とは何か」など意識を高めることができました。
感想など	「自分の夢の実現について考える良い機会となった」「今まで『夢』とは、将来なりたい職業しか思い浮かべなかったが、今回の講演を聞いて、具体的にどんな風になりたいのかをイメージすることが大切だと気づかされた。」など、生徒が今後進路を考える上で大切な道標を示していただいた有意義な講演会となりました。